

農業ブランド化の成功例

アグリコラボで講演

糸島農業産学官連携
推進協議会（アグリコ
ラボ）として、久保田

金丸肇官農産部直販担当
部長が講演した。

穂会長が「糸島農産物
の地域ブランド化パー
ト2」を二十日、九州大
伊都キャンパス（福岡
市西区元岡）で開催。
成功例としてハーブ栽
培の久保田農園の会長
でもある久保田会長、
JA糸島産直市場「伊
都菜彩」について、小

農業者、九大教職員、
糸島市職員など約六十
人が参加。久保田会長
は一九六五年に北野町
（現久留米市）から糸島
市志摩桜井に移り住ん
で就農し、誰も作って
いない野菜を求めて生
産していった過程を解
説した。完全注文販売
で、十七都道府県に取



久保田会長が講演

引先がある。パックに
画家・西島伊三雄さん
のイラスト入りシール
を張り久保田農園の
「香りの野菜」として
ブランド化を行った。
久保田会長は「人が
作っていない、健康に
いい野菜を探して作る
ことで伸びていくので
は」と提言した。
小金丸部長は、二〇
〇七年に開店した伊都
菜彩で、レジを通過し
たお客さんが同年度約
八万人だったのに対
し、二〇二一年度約一
二七万人まで伸び、四
月には累計七百万人突
破が予想されると発
表。今後の課題として
高齢化する出荷会員対
策、農産物端境期対策、
六次産業化、食育活動
とネット販売を挙げ
た。「私たちはリピー
ターではなく、『伊都
菜彩良かったよ』『糸
島良かったよ』と他の
人にPRしてくれるフ
ァンを作っていくた
い」と語った。

2013年3月28日

糸島新聞（2面）